

雨竜中学校校歌

昭和26年9月制定

作詞 横山 正治

作曲 山地 一彦



暑寒の峰に照りそう朝日
石狩川の絶えざる流れ
その古鋤をうち振りけん
拓祖の心承け継ぎ行きて
やよや挙げなん雨中のほまれ
いざや進まん希望の道へ

、
雨竜の平野涯なく広く
黄金の稲穂豊かに稔る
平和の光庇に受ける
わが学舎を見守り行きて
やよや磨かん雨中魂
いざや力めん己が業を

平和な水田地帯を校下として、新しく発足した本校の姿を歴史的、景観的にながめ、そこから生れる一つの理念を歌い出したもの